

## 育ネットつなん

津南町教育委員会

育ネットつなん事務局



## 子どもたちは雪が好き!?

～地域の力を連携して子どもたちのよりよい成長を～

育ネットつなん座長 涌井 泰二

「子どもたちは、雪が好き!」と、わたしは思っていました。しかし、以前勤務した小学校で子どもたちに尋ねたところ、その結果に驚きました。低学年の子どもたちは、ほとんどが「雪は好き!」と元気に手を挙げていました。ところが、学年が上がるにつれて、「好き」の割合が減り、6年生に至っては、4割ほどの子どもたちが、「雪が嫌い」と答えていました。とても意外な結果でした。高学年になるほど、雪で苦勞した自身の体験や家族の苦勞を見ているからでしょうか。

地域の保護者やお年寄りたちと懇談する機会がありました。その中で、「大きくなったら、こんな大雪の降るところじゃなくて、雪の降らないもっと便利なところに行くといい。」と子どもたちには話していると、複数の方が話していました。そのとき、雪に対する子どもたちの反応の一つの理由が理解できた気がしました。津南町でも、同じような話を耳にしました。私たち大人自身が、雪の大変さだけでなく、雪がもたらす様々な恵みや美しさを日々の何気ない会話の中で、子どもたちに伝えているでしょうか?さらには雪によって縄文の時代から培われてきた世界に誇るべきこの地域の「雪国文化」を、語り伝えてきているでしょうか?

子どもたちに、自分の地域のマイナス面だけでなく誇るべきプラス面を熱く伝えなければ、どうして自分が暮らす地域を愛し、地域のために何かをしたいと思う子どもたちが育つでしょうか?私たち大人は、様々な機会を捉えて、子どもたちにこの町の素晴らしさを伝え、語っていく必要があるように思います。

津南町には、まだまだ十分とは言えないまでも、子育てを支援する組織が複数存在し、様々な取組を行っています。今年11年目を迎えた「育ネットつなん」もその一つです。地域、保護者、学校、保育園の4部会、そして行政が縦・横に連携し、子どもたちのよりよい育ちのための方策を話し合い、3つの共通実践事項を核としながら各部の取組を行っています。言い換えれば子育て世代を支えていく連携組織です。

また、津南町では、昨年度からこれまでの「育ネットつなん」の取組と関連しながら、地域学校協働活動(愛称:「イクロスつなん」)も始まりました。「育ネットつなん」が、子どもたちの課題やよりよい成長のための取組を話し合う場であれば、「イクロスつなん」の活動は、それぞれの学校のニーズに応じて、人的なより具体的な支援をする活動です。声がかかったら、地域の皆さん、どうか子どもたちのために大いに力をお貸しください。津南に住む人々がより連携し、様々な場面で津南の素晴らしさを子どもたちに伝える大人が増えることも、子育てしやすい町づくり・環境づくりの一つになり、この町の魅力になっていくことだと思います。

## I 早寝・早起き・朝ごはん運動を通して子どもの心身の健康を守る。

○家族の会話を増やしてメディアコントロールの習慣形成 ○毎月19日(育の日)は食育とメディアコントロールの集中した取組

育ネットつなん  
共通実践事項

## II あいさつ運動の推進～毎月10日は「あいさつの日」～

○町ぐるみのあいさつ運動のため、組織・団体間の連携を継続 ○園・校の取組紹介と大人の率先あいさつ

## III 郷土に誇りをもち、家庭や地域のために行動する意欲の一層の向上

○家庭・学校・地域の連携で、家庭や地域の一員としての役割を果たす子の育成 ○郷土愛を軸としたキャリア教育と苗場山麓ソパークをつなぐ取組の工夫

## ★ イクロスつなん(地域学校協働活動)のロゴデザインが決まりました!

イクロス  
つなん

町内の各校で、毎日の下校時の見守りやミシン操作等の実習や体験活動の支援を行っている、イクロスつなんのボランティアの皆様にかけていただき、バッジやタオルのデザインを右図のものに決定しました。活動をアピールする意味も込めて、参加者にお渡ししてまいります。



(バッジ)



(タオル)



学校を出発する時、少しきんちょうしていました。英語を話せるかが不安だったからです。1日目。ライアンさんが何を言っているのか最初はわからなかったけれど、ローローブスをやったりして時間がたつにつれて少しずつわかってきました。  
夜は次の日が楽しすぎて、よく眠れませんでした。

津南小学校 6年 中澤 大芽

私がみらい教室で楽しかった事は、カヤックです。大きな湖でカヤックに乗りました。最初は、上手にこげるか心配だったけど、やっていくうちにどんどんうまくなっていったうれしかったし、ふだんはあまりできない体験だったのでとてもいいきいになったのでよかったです。また、カヤックに乗りたいです。

津南小学校 6年 島田 円日



# 令和5年度 津南町みらい教室

二日目で楽しかったことは二つあります。一つ目はカヤックです。カヤックは風が当たって気持ちよかったし、左右に曲がるのが思ったより簡単だったので楽しかったです。二つ目は「ガガ・ゴー」です。ぼくは4、5回勝ちました。ぼくのチームの中で一番勝った回数が多かったのでうれしかったです。ぼくはアクティビティの中でガガ・ゴーが一番楽しかったです。

上郷小学校 6年 藤ノ木陸斗



私が三日目に楽しかったことは、パイレーツです。ゲーム説明を中学生が英語でしていて、すごいと思いました。ゲームでは相手の陣地に宝物を取りに行ったり、取りにくる人をつかまえたりして楽しかったです。時には、相手と仲間になったり、裏切ったりして、チーム以外の人も仲良くなれました。

芦ヶ崎小学校 6年 桑原いつか



私は二日目に楽しかったことは、夜に行ったダンスパーティーです。最初はみんな緊張していたけれど、スタッフの方々が盛り上げてくれたので、だんだん緊張がほぐれました。中盤になってくると自分からステージに上がる人が増えてきて、最後はみんながステージに上がっておどりました。みんなも楽しんでいて、自分も楽しめたのでよかったです。

上郷小学校 6年 橋野 加奈



三日目は中学生とパイレーツで遊びました。パイレーツでは、ルールや遊び方がわからなかったとき、中学生の人がやさしく教えてくれました。やっていくうちにだんだん分かってきて、自分からぐんぐん相手チームにせめることができました。このみらい教室を通して、他校の仲間と中学生の先輩たちと仲良くできました。

芦ヶ崎小学校 6年 関沢すみれ



今日のみらい教室が、最後のみらい教室でした。小学校の時とは逆で、説明される側から、説明する側になって新鮮な気持ちでした。僕は英語がすごく苦手で、うまく説明できるか心配でした。でも、ぼくは「言う・書く・ジェスチャー」の中で、一番自分でできそうな「ジェスチャー」を選びました。「ジェスチャー」でも簡単な英語を使って説明しましたが、練習の時は緊張せずにできました。本番になると、言葉が出なくなりましたが、仲間と協力して上手く説明ができました。「パイレーツ」では、小学生はルールがあまり分かっていないようだったけど、やっているうちに理解ができていました。最後のみらい教室だったけど、いい思い出になってよかったです。

津南中学校 1年 涌井 陽和



今日、中学1年生になって行って「思ったこと・感じたこと」がたくさんあります。その中でも感じた事は、私たちが説明している中で、(6年生が)しっかり話を聞いてくれていたことです。私は上手く説明できるかとても不安だったけれど、小学校6年生のみんなから話をちゃんと聞いてもらって、とても上手く説明ができました。パイレーツの班のみんなが楽しくルールを理解してくれて、楽しんでいたのが良かったです。今日の活動を通じて個人目標とグループ目標も全部できていたので良かったです。私は今年のみらい教室はできなくなってさみしいけれど、これからも英語活動があったらがんばりたいです。

津南中学校 1年 柳原 朱里



## 【津南町の子育て教育連携】

津南町では乳幼児から18歳までの子どもたちへの切れ目のない子育て支援と教育に計画的に取り組んでいます。町の子育て支援センター・保育園・小学校・中学校・中等教育学校が施設の種類や設置者の違い等の壁を乗り越えて、子どもたちの健やかな成長と共生社会実現のために情報共有と連携・協働を行っています。なかでも保育園年長段階から小学校入学までのアプローチと小学校入学後のスタートの時期には、園・校それぞれの職員が相互に訪問し、一人一人の子どもたちの成長を見守り、意見を交わしながら育ちを支援しています。

## 【保育園間連携】

それぞれの園を訪問したり、総合センターでゲームやリレーで交流したり、年長児が互いに関わりながら仲良くなる行事を数多く行っています。保育園が連携して計画・実施することで、年長児の育ちをより多くの保育者の目で確認し、保育の質を高めることに生かしています。



## 【保育園-小学校連携】

年長児の入学に向けたアプローチの取組と同時に、保育士が各小学校を訪問して教育活動の補助をしながら、学校での指導や支援の方法を体験する機会を設けています。また、夏季休業中には各小学校の教員が各園を訪問して保育士を補助する体験をしています。保育士と教員がそれぞれの教育環境に身を置くことで理解を深めています。



## 【小学校間連携及び小・中等教育学校間連携】

低学年は上郷小学校で、中学年は芦ヶ崎小学校で、5年生はジオ学習で、6年生はみらい教室で同年代との交流学习を行いました。また、県立津南中等教育学校を町内の6年生が訪れ、授業参観や生徒会主催のイベントを体験しました。



## ☆育ネット地域部会と津南町商工会青年部が Collaboration! ☆

津南中学校2年生のキャリア教育で「職業調べ」の学習に津南町商工会青年部の皆さんが講師として参加されました。

パネルディスカッションで中学生時代の思い出や夢を語る講師の皆さんの姿に、中学生は等身大の自分を投影している様子に見えました。その後の職業紹介のブースでは、実際に使用する道具や画像資料などに触れて、より具体的に職業をとらえているようでした。

